

平成 31 年 3 月 15 日

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 中富 一郎
(4 5 7 1 東証マザーズ)
問合せ先 取締役CSFO兼社長室長 松山哲人
電話番号 03 - 3241 - 0553

パクリタキセル内包ミセル（NK105）に関する論文掲載について

当社から、日本化薬株式会社にライセンスアウトし、同社にて開発が進められておりますパクリタキセル内包高分子ミセル（日本化薬開発コード：NK105）について、報道がございましたのでお知らせいたします。

2019年2月、NK105の第Ⅲ相臨床試験の結果が国際科学誌「British Journal of Cancer」に掲載されており、NK105群とコントロール群（パクリタキセル）は、PFS（無増悪生存期間）中央値には、ほとんど差がなく、末梢神経障害は優位に抑えられていたと示されています。

British Journal of Cancer (2019) 120:475-480

A multi-national, randomised, open-label, parallel, phase III non-inferiority study comparing NK105 and paclitaxel in metastatic or recurrent breast cancer patients

本品は、当社が2000年に研究所を立ち上げて最初に研究を始めた候補品であり、日本化薬株式会社にライセンスし、NK105として臨床試験に入ったミセル化ナノ粒子技術を用いた初めての製剤です。

なお、本論文掲載について、日本化薬株式会社 鈴木政信 代表取締役社長は、2019年3月13日付の化学工業日報誌面の中で、「現在、投与量を同量にした第Ⅱ相試験を行っているが、インパクトファクターの高い雑誌でPhase3自体の価値を認められたことは、承認申請に向けて好材料になる」とコメントされています。

以上